

1 タイムラインとは？

左から右へ進むグラフの中で、黒の線(シークバー)が触れたバーの画像が上部のプレビュー画面に映ります。

2 見たい場面を再生するには

目盛りをクリックして再生したい場所へ移動できます。

3 再生範囲

始めから終わり迄のピンクのバーが再生する範囲を表しています。始めと終わりを前後に移動して再生範囲を変更できます。時間の長い動画であっても、再生範囲を調節することで、その部分だけを繰り返し再生できます。

4 バーを選択する

バーをクリックすると、ライトブルーの選択状態になり、プレビュー画面や、⑩エフェクトトレイ内で個別に設定が可能です。選択を解除するにはバー以外の箇所をクリックします。

5 カット編集(素材のトリミング)

バーを選択中に、ポーズボタン(又はスペースバー)を押すと、黒線とバーが交わった箇所にはさみのマークが表示されます。はさみマークをクリックすることでバーが分断され、動画の必要箇所をはさみで切り出すことで編集していきます。バー左右の[始め]と[終わり]を移動することでも同様の編集ができます。

6 映像の切り替わり効果

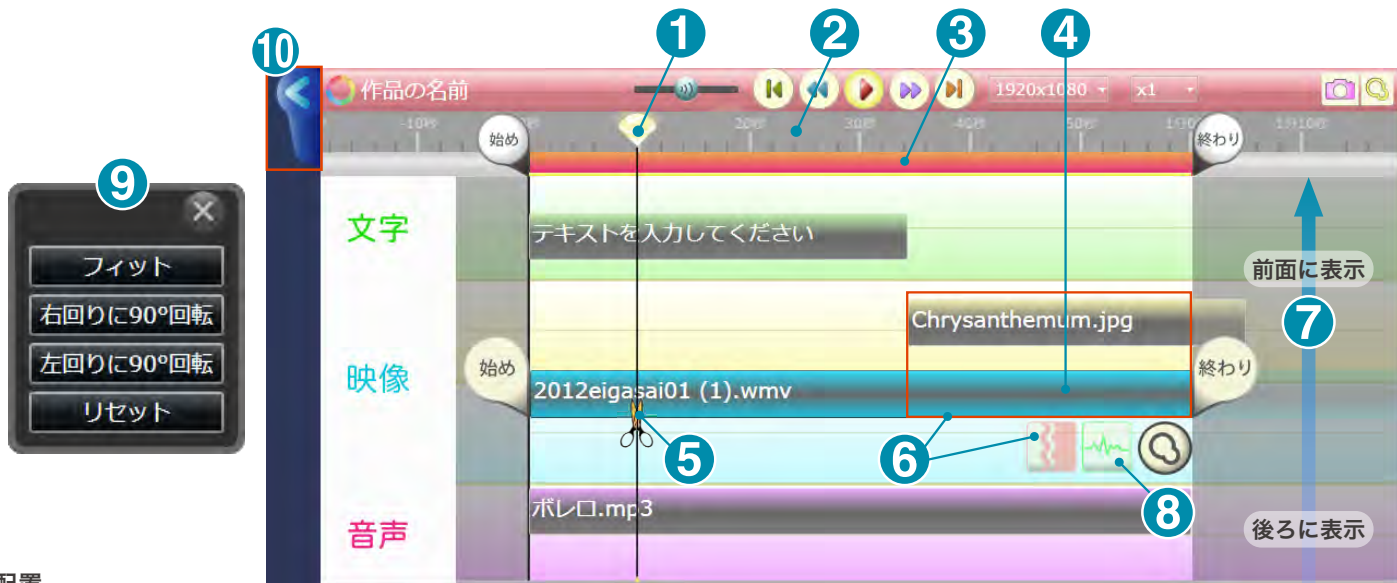
バー同士が重なると、重なった分だけオーバーラップ(だんだん消える)、バー同士がピッタリくっつくとバツと切り替わります。赤いボタンは、切り替わり効果の始まりと終わりのタイミング設定と、画面全体の透明度の設定が出来ます。

7 グラフの上部に位置するバーが、前面に表示される

プレビュー画面内での画像の重なり順を、グラフ内のバー位置の上下関係で示しています。グラフの上部にあるほど、画面内で最前面に表示されますので、テキストは必ず写真や動画より上に配置してください。

8 音量調節(個々のバーの音量)

バーを選択し、緑のボタンをクリックすると音量調節トラックが表示されます。緑の線を上下にドラッグすることで全体の音量、左右の矢印とタブを移動することで音量のフェードin/outを設定します。



9 配置

プレビュー画面の動画や写真、テキストをクリックして選択状態になったら、上下左右のハンドルで拡大縮小、移動できます。⑨のボタン群を使えば、各素材の大きさを画面サイズに合せたり(フィット)、左右90度の回転、または初期設定に戻す(リセット)事ができます。

10 エフェクトとテキスト

画面上部のアートメニューからテキストを追加。エフェクトメニューから手描き、プリクラ等のエフェクトを適用できます。⑩のエフェクトトレイから詳細設定が可能です。

エフェクトの追加方法

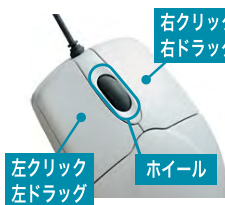
特定のバーを指定せずにエフェクトメニューから、エフェクトをクリックすると、グラフ全体、すなわち全てのバーにエフェクトが適用されます。特定のバーに限定してエフェクトを追加する場合は、バーを選択してからエフェクトを適用させます。

カット編集をよりスムーズに行うには？

キーボードショートカットを使います。



タイムライン上でのマウス操作



左クリック：選択
右クリック：選択
左ドラッグ：バーの移動、複数バーの移動、グラフ内を移動
ホイール：グラフの目盛り拡大縮小
右クリック：メディアブラウザからタイムラインやゴミ箱等のツールへ移動ショートカット
右ドラッグ：ドラッグしながらバーに触れると複数選択